

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 高水高等学校・同付属中学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒740-0032
山口県岩国市尾津町二丁目24-18
 E-mail : office@takamizu-h.ed.jp
 Website : http://www.takamizu-h.ed.jp/index.php
 児童生徒数：男子 449名 女子 341名 合計 790名
 児童・生徒の年齢 13歳～18歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

総合学習の時間を中心として、各教科・HR活動・道徳の時間等も有機的に関連性を持たせながら、中高一貫教育のメリットを活かした組織的系統的な環境学習を通じてESDの学びを深めることを目標に活動を進めた。

具体的には、中1から高2までの5学年に割り振られた学習プランを、各学年では研究課題と位置づけ、総合学習の時間を中心におよそ4ヶ月をかけて研究した。

課題研究は全員参加を原則とし、各クラス単位で個人または3名程度のグループに分かれて行い、その成果を、パワーポイントを用いたプレゼン形式でまずクラス内で発表した。これを予選発表会とし、この時、最も評価の高かったグループの発表をクラス代表と決めた。そして2月中旬に、クラスの代表者(グループ)を一堂に会した中高合同発表会(中1～高2までの5学年に在籍する生徒全員を会した発表会)を開催し、保護者や関係機関、マスコミ等を招き、公開するとともに、中学生全員の課題研究結果をまとめた冊子を作製した

また、平成26年11月に岡山で開催されたユネスコスクール世界大会・高校生フォーラムに、高校2年生の4名が中国地区代表として出場した。岡山でのフォーラムに先立って行われた地域交流会では、ロシア、ブラジル、大韓民国、ガーナの代表チームを招待し、高校2年生が中心となって、日本文化体験などの異文化交流会を企画・運営した。

また、昨年度、「ESDパスポート」を試行実施したこともあり、今年度も「ESDパスポート」を活用し、ボランティア活動の推進に努めた。全体的な割合は依然として少ないものの、ユネスコ部の部員を中心に、ボランティア活動に参加する生徒が少しずつ増え、成果としては、高校生3名、中学生1名が30ボランを達成した。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()